



**精神科を主たる業務とされている医療機関での誤報事例です！**

# NBS119

画像は良く御存知の自動火災報知設備の発信機です。

とある精神科医療機関で誤報が頻発し、その原因はこの発信機でした え？

そうなんです！ **強く押す** と表示されています。だから患者さんが強く押したそうです。  
決して間違っはけません！

設置場所は廊下の補助散水栓です。

位置を高くする方法もありますが

基準に違反するので**ダメ！**

押せなくすることも**ダメ！**

押しても働かなくするのは **サラサラダメ！**

*悩みました！*

**悩んだ結果！**

所轄に下記解決案を持って相談に出向き、了承していただきました。

**解決案！**

病棟廊下の発信機はダミーとして配線を繋がず 専用発信機を詰所内に設置する。この位置変更及び使用要領の変更は、各職員全員に漏れなく伝え、周知徹底させ、訓練時に起動もさせる。

以後 何度かダミー発信機を押されてはいるようですが、全く日常生活には支障はでておりません。

※ 消防訓練時に詰所内発信機を起動する練習もしております。



西日本防災システム  
NISHINIHO BOHSAI SYSTEM Co., Ltd  
<http://www.nbs119.co.jp/>



弊社Top Pageへ

